

多摩周辺地域の地方議員の皆様向け勉強会のお知らせ

ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟★多摩 ANNEX 勉強会

対話型自治体経営シミュレーションゲーム

「SIM熊本2030」体験会

えっ!?まだ
やったことないの?

05.26 SAT
13:00-16:30

総合計画や財政計画、
予算編成に活かせる！
人口減少社会の議会の役割も考える！



「SIM」を知らずして、
「対話のまちづくり」は語れない。

5月18日
エントリー
締め切り

◇開催概要◇

対話型自治体経営シミュレーションゲーム

「SIM熊本2030」体験会

日時:5月26日(土)13:00~16:30 (12:30開場)

定員:50名(※定員になり次第締め切ります)

主催:ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟
(LM多摩勉強会実行委員会)

後援:ローカル・マニフェスト推進ネットワーク

協力:早稲田大学マニフェスト研究所

対象:地方議員、自治体職員、一般

参加費:議員3,000円

LM地議連会員および一般1,000円

お申込み方法:Peatixからお申込みください。

↳ <http://ptix.at/I6HI8P>



会場:NTTアドバンステクノロジー株式会社
武蔵野センタービル 会議室
(三鷹駅北口徒歩3分、武蔵野市中町1-19-18)
会場の詳細は申込み頂いた方に改めてご案内いたします

お問い合わせ

LM地議連事務局 (早稲田大学マニフェスト研究所内) : 担当 青木、永尾
TEL : 03-6214-1315 / E-MAIL : mani@maniken.jp

「SIM熊本2030」とは？

今後起こりうる地域の課題をシミュレーションし、何が起きるかを**体感**しながら、**選択**の過程で生じる対立を**対話**により乗り越える体験を「ゲーミフィケーション（＝ゲーム化）」することで、これらの現状（隘路）を解決し、様々な世代、様々な地域、多様な立場が一体となったまちづくりを行う“場”を創り上げる。



【2030年問題】

戦後に生まれた団塊の世代が高齢化し、2025年頃から75歳以上の後期高齢者世代に突入し始める。日本の人口構成も、図1のようにピラミッドの上層部分が大きくなり、2030年には、3人に1人が65歳以上の高齢者と言われるほど、高齢者率の上昇が予想されている。

【限りある財源】

人口減による**税収減**、高齢化による**社会保障費増**。これまで「あれも、これも」と様々な政策を実施していたが、これから「あれか、これか」の選択を迫られる時代となる。

【様々な対立】

選択の過程で、様々な**対立**が生じてくる。

高齢者 × 若者

都市 × 山間部

【対話が苦手】

大事なことと分かって、対立を伴うような**対話**は苦手である。多様な問題を自分のこととして捉え、参加することが大事だと思っ**て**いてもハードルが高い。

【ゲーム説明】

高齢化により社会保障に必要な予算が増え続けるなか、何の予算を落とし、何の予算を残していくか。そして、残された予算・事業でいかに幸せな街を作っていくか。

プレイヤーは6人1組で架空都市〇〇市の部長に就任し、2030年までの5年ごとに迫りくる課題に対して、他の部長と対話し、「市としての判断」を下していく。

未来を2つに分けてゲームに組み込む

すでに起こった未来	これから創る未来
前提条件	選択肢

- 各部の予算はほとんどが義務的経費であり、裁量のある経費は各部2～3億円（事業カードの枚数）のみ。
- 人口減少により労働力人口・消費者人口も減少し、税収は5年ごとに1億円ずつ下がる。
- 反対に、高齢化の進行により、社会保障経費は5年ごとに1億円ずつ増加する。
- 突きつけられた課題に対して、他の部長と対話し、「市としての判断」を決めなければならない。
- 減り続ける財源に対応するため、事業カードのどれかを廃止して、財源を確保しなければならない。
- 部長は自らの所管する事業カードの具体的な運用方針（カードの詳細な内容）を決めることができる。